

知財情報活用講座（オンラインセミナー）

～パソコン演習・グループ討議で学ぶ知財情報活用の実践～

	担当 講師	<ul style="list-style-type: none">・講座コーディネーター 野崎 篤志（のざき あつし） 株式会社イーパテント代表取締役社長/知財情報コンサルタント K.I.T.虎ノ門大学院 客員准教授・担当講師 第1/2回 野崎 篤志（のざき あつし） 株式会社イーパテント代表取締役社長/知財情報コンサルタント 第3回 佐川 穂（さがわ じょう） 旭化成株式会社 研究・開発本部 知的財産部 知財戦略室 エキスパート AIPE認定 シニア知的財産アナリスト
実施 日程	<p>第1回：2021年1月21日（木）14:00～17:20 zoom （野崎） 第2回：2021年1月28日（木）14:00～17:20 zoom （野崎） 第3回：2021年2月4日（木）14:00～17:20 zoom （佐川） *講座の途中に休憩を2回</p>	
受講料	30,000円（税込・テキスト代込）	
対象者	<ul style="list-style-type: none">・知財経営コンサルタントを目指す方であり、知的財産情報（特に特許情報）をベースに、自社や支援先企業へ知財戦略策定や研究開発支援を行いたいと考えている方・パソコン演習（講師のパソコン操作画面を見ながら自らのパソコンで実施）やグループディスカッションを通じて知財情報調査・分析およびその活用に関する知識・スキルを体系的に習得したい方 <p>*MS Excelのバージョンについては2016以上を前提として講義を進めていきます</p>	
受講者の声	<ul style="list-style-type: none">・パソコン演習によって講義内容をすぐに実感することができ理解が進みました。今後の実務にさっそく活かしたいと思います。・改めて知財情報調査及び知財情報分析の重要性を認識することができました。・特許調査において、感覚的ではなく、論理的に分類等を決定する検索マトリックスを理解することができました。・過去の知識を補完しつつ、最新の情報活用方法について学ぶことができました。・知財情報の具体的な活用の仕方が考えられるようになったと思います。・企業での情報活用の考え方を具体的な事例に基づいて学ぶことができました。	

概要 ねらい	<p>グローバル化が進展し、様々な製品・サービスがコモディティ化する現在において、戦略的な知的財産の活用によって事業戦略やビジネスモデルを確立・推進し、自社既存ビジネスの保護・発展および新規事業の開発が必要とされています。そのような業務を遂行できる「知財経営コンサルタント」として、企業の事業戦略および研究開発戦略策定に貢献するためには、知財情報の調査・分析を戦略的に行った上で、分析結果に基づく知財面からの解決策提示・戦略立案をする知識・スキルが必要とされます。</p> <p>本講座では、知財情報調査・知財情報分析業務に従事しているコーディネーターと特許事務所および企業の現場において実際に知財情報調査・知財情報分析結果を利用・活用されている講師陣からプログラムが構成されています。<u>単なる座学ベースの講座ではなく、事前課題、パソコン演習およびグループディスカッションも交えることによって知財情報を活用するための基礎知識およびスキル・テクニックを体系的に習得していただきます。</u></p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知財情報調査・知財情報分析について体系的な知識・スキルセットを習得する。 ・ 各種知財情報調査・知財情報分析について基礎知識を習得し、簡易的な先行技術調査や無効資料調査、侵害防止調査は J-PlatPat を用いて自ら実施することができる／複雑な知財情報調査・知財情報分析については外部調査機関をリードすることができる。 ・ 知財情報調査・知財情報分析結果をベースに、解決策提示・知財戦略立案を行うことができる。
形式及び内容 (予定)	<p>講義およびグループ討議形式 (★パソコン演習／☆グループディスカッション)</p> <p>*パソコン演習は講師のパソコン操作画面を見ながら自らのパソコンで実施</p> <p>第1回：知財情報調査・知財情報分析の基礎知識と検索テクニック</p> <p>講師：野崎篤志氏（株式会社イーパテント 代表取締役社長／知財情報コンサルタント）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 知財情報調査・知財情報分析の基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> ● 知財情報調査・知財情報分析の必要性 ● 知財情報調査・知財情報分析の種類とその目的 ● 知財情報調査・知財情報分析のステップ ● 各種知財情報調査・知財情報分析結果のまとめ方・アウトプット例 ● 知財情報調査・知財情報分析で利用可能なデータベース（最新情報） ② ★J-PlatPat を用いた特許検索式の作成・構築 <ul style="list-style-type: none"> ● 調査条件の設定 ● 検索キー（キーワード・特許分類）の選定 ● 検索キーの組み合わせ（特許検索マトリックスおよび関連性マトリックス） ③ 意匠検索・商標検索 <p>第2回：知財情報分析における実務スキル</p> <p>講師：野崎篤志氏（株式会社イーパテント 代表取締役社長／知財情報コンサルタント）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① IP ランドスケープの基礎知識 ② 知財情報分析およびパテントマップの基礎知識（一部意匠マップ含む） ③ 知財情報分析のデザインとワークフロー ④ ★MS Excel および無料ツールを用いた知財情報分析 ⑤ パテントマップ・分析結果の解釈と、特許以外の情報（市場情報・論文など）活用 <p>第3回：企業における知財情報分析および戦略策定</p> <p>講師：佐川穰氏（旭化成株式会社 研究・開発本部 知的財産部 知財戦略室 エキスパート）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 旭化成グループの事業戦略・知財戦略 ② ☆業界・業種による知財戦略の違い ③ 企業における知財情報調査・知財情報分析の事例と情報解析ツール ④ 旭化成における IP ランドスケープ ⑤ ☆グループ討議：新規市場参入を図る上で必要となる知財情報分析および知財戦略の策定
事前読込 テキスト (推奨)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野崎篤志、弁理士が知っておきたい国内外特許情報調査の基礎知識、パテント、Vol.67、No.1、2014年（弁理士会ウェブサイト）出版・冊子・月刊「パテント」>過去の記事内容から PDF 閲覧可能 <ul style="list-style-type: none"> > http://www.jpaa.or.jp/old/activity/publication/patent-library/patent-lib/201401/jpaapatent_201401_031-042.pdf ・ 野崎篤志、IP ランドスケープの底流－情報分析を組織に定着させるために、IP ジャーナル Vol.9、2019年（インターネット情報に PDF 掲載） ・ 中村栄、IPL de Connect、Japio YEAR BOOK 2019 <ul style="list-style-type: none"> > https://japio.or.jp/00yearbook/files/2019book/19_2_03.pdf

	<ul style="list-style-type: none"> 和田玲子、企業における知財アナリストのキャリアパス～IP ランドスケープの実施のために～、情報の科学と技術、Vol.69、No.1、2019 ➢ https://www.jstage.jst.go.jp/article/jkg/69/1/69_16/_article/-char/ja/ 和田玲子・中村栄、AI 時代の IP ランドスケープを遂行する知財アナリスト～解析シナリオ構築力のレベルアップを目指して～、情報の科学と技術、Vol.70、No.7、2020 ➢ https://www.jstage.jst.go.jp/article/jkg/70/7/70_366/_article/-char/ja/ 工業所有権情報・研修館、「知財情報の有効活用のための効果的な分析方法に関する調査研究」2010 年 ➢ http://www.inpit.go.jp/katsuyo/shiryo/shiryo00002.html
参考書籍 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> 野崎篤志、「調べるチカラ」、日本経済新聞出版社、2018 年 野崎篤志、「知財情報分析とパテントマップ作成入門 改訂版」、発明推進協会、2016 年 野崎篤志、「特許情報調査と検索テクニック入門 改訂版」、発明推進協会、2019 年 丸島儀一、「知的財産戦略」、ダイヤモンド社、2011 年 鮫島正洋・小林誠、「知財戦略のススメ」、日経 BP、2016 年 渋谷高弘ほか、「IP ランドスケープ経営戦略」、日本経済新聞出版社、2019 年 久慈直登、「喧嘩の作法」、ウェッジ、2015 年 久慈直登、「経営戦略としての知財」、CCC メディアハウス、2019 年 特許庁、経営における知的財産戦略事例集、2019 年 ➢ https://www.jpo.go.jp/support/example/keiei_senryaku_2019.html 特許庁、経営戦略を成功に導く知財戦略【実践事例集】、2020 年 ➢ https://www.jpo.go.jp/support/example/chizai_senryaku_2020.html 特許庁、特許情報提供サービスに関する調査報告書について ➢ https://www.jpo.go.jp/resources/report/sonota/service/index.html
講師 略歴	<p>◆野崎 篤志 氏</p> <p>(株式会社イーパテント 代表取締役／知財情報コンサルタント、K.I.T.虎ノ門大学院 客員准教授)</p> <p>慶應義塾大学院理工学研究科修了（工学修士）、金沢工業大学院ビジネスアーキテクト専攻修了（経営情報修士）。日本技術貿易株式会社、ランドン IP 合同会社の日本事業統括を経て。平成 29 年 5 月に“知財情報を組織の力に”をモットーに知財情報コンサルティングの部ディックファームである株式会社イーパテントを設立し、代表取締役社長に就任。</p> <p>事業戦略や研究開発戦略策定のための技術動向分析、競合他社分析のほか、新規事業開発支援、新規用途探索・アイデア創出、知財デューデリジェンス、知財人材育成などの知財情報コンサルティング業務に従事。</p> <p>著書に「調べるチカラ」（日本経済新聞出版社）、「知財情報分析とパテントマップ作成入門 改訂版」（発明推進協会）、「特許情報調査と検索テクニック入門 改訂版」（発明推進協会）などがある他、論文・寄稿多数。金沢工業大学院 イノベーションマネジメント研究科 客員准教授（担当科目：特許情報実務論）、一般社団法人特許情報サービス連合会 理事、発明推進協会講師、大阪発明協会講師などを歴任。</p> <p>平成 30 年度特許情報普及活動功労者表彰・特許庁長官賞受賞。</p> <p>◆佐川 穩 氏</p> <p>(旭化成株式会社 研究・開発本部 知的財産部 知財戦略室 エキスパート)</p> <p>旭化成株式会社入社後、知的財産部にて知財リエゾン業務に従事。戦略企画・開発新事業企画開発部門へ異動し、ビジネス企画を行った後、2014 年より知的財産部にて技術情報の調査と分析に従事。エキスパート（旭化成グループ高度専門職）。知的財産教育協会認定 シニア知的財産アナリスト。</p>